

寺報
善巧

発行
〒 938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
URL <http://www.zeneyou.net>

賀正



親鸞聖人の750回大遠忌祥月命日は平成24年1月16日です。

お寺も効率化、簡略化が進行しました。よくよく考えると、それらは、外部からやつてきたものではなく、自分自身の都合や怠惰とも合致していたことに原因があつたと気付き、言葉を失います。

私が住職を継職して十
五年が経ちました。その
間、もの凄いスピードで
時代は流れ、家族や地域
の在り方をはじめ、もの
の考え方自体が大きく変
化し、それは葬儀や法事
の在り方にまで影響を及
ぼすようになりました。

親鸞聖人の七五〇回大遠忌
月命日にあたり、本願寺では約半年かけて行われてきた法要もいよいよ千秋楽。
善巧寺でも例年どおり御正忌として法事が勤まり、
本堂修復工事を終えた翌年、平成二十五年の秋に七五〇回大遠忌法要をお勤め致します。

分歧点

る自信もなく、大きなことも言えませんが、「みんなのお寺」である限り、引き続き、皆さまのお育てを頂きたくよろしくお願い致します。

生】を送りたいです。そういう意味でも、親鸞聖人の七五〇回大遠忌は、またとないチャンスであり、大きな分岐点と受け取ります。すでに、何度も同じ過ちを繰り返してきてるので、スパッと変わ

わらないことはなんでも
しようか。

善巧寺住職
雪山俊隆

秋の一大法要 ～報恩講・空華忌～



十月の報恩講、十一月の空華忌が無事執り行われました。今回は両期間中に、新調された天井画の一部を展示しました。

「あらキレイや～」「生きとるみたいやぜ」と、感嘆の声が多数聞かれました。

した。この天井画は日本画家の清河恵美さんが描かれたもので、このたびの七五〇回大遠忌記念事

業の一環として新調されます。皆さまの多大なるご寄進によつて、このような素晴らしい絵が本堂に永く安置されます。

これほどのありがたいお供えはありません。

「私の天井画」と同様、どうぞお受け取り下さい。

報恩講御満座では次の方々が感謝状を受けられました。

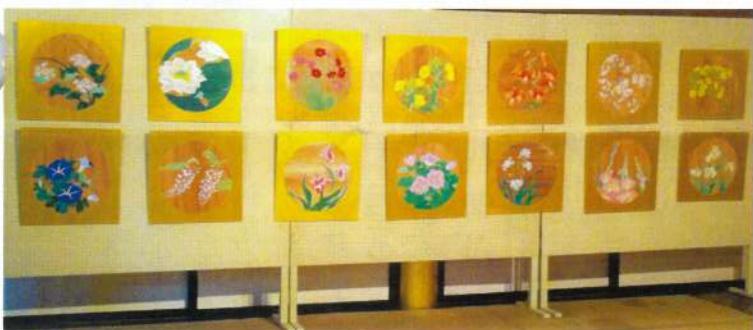
善巧寺の混乱期に責任役員を務められてなんとか危機を救つてくださった野島義春さん。

若い頃からお寺に足を運ばれてお寺の

非常に熱心に総代役を務められて、特にカメラの腕を見込まれて善巧寺の行事の記録はほとんど一手に引き受けてくださいた鬼原六義さん。

隅々まで知つておられ、営繕部ではその知識を遺憾なく發揮してくださいた加藤友司さん。

音沢地区代表として三十年ちかく總代を務めてくださいました故野村五郎さん。この度突然逝去されました。されましたが、代理の方が参列なさいました。



お寺の音楽会「お寺座ライブ」も今回で六回目となりました。徐々に認知度も高まり、今年は申し込み初日で二百枚のチケットが完売し、追加募集の縁側立見席五十枚も十分で完売するという予想以上の反響でした。お寺とご縁が薄くなつている若者が音楽を楽しみながら法話や読経にも触れてもらいうご縁です。



第三回目の門徒親睦パークゴルフ大会が行われました。毎回新しい参加者も増えて盛り上がっています。優勝は二連覇です。ぜひご参加ください！



清掃奉仕にて役員のみなさん

徳成寺大森婦人会みなさん

龍谷大学修学院のみなさん

三〇日	二八日	二四日	二二日	一九日	一六日	一三日	一〇日	九日	七日	六日	三二日	三一日	二〇日	一九日	一八日	一七日	一六日	一五日	一四日	一〇日	九日	七~八日	
{	浦山報恩講	{	雪ん子劇団	{	定期公演	{		{	浦山報恩講	{	浦山報恩講	{		{	下立報恩講	{	三日市報恩講	{	浦山お講	{	三月	{	寺 ごよみ

お寺座ライブ

十月八日

パークゴルフ大会

十月三十一日

寺
ごよみ

二月

御正忌

親鸞聖人の祥月命日に行
われる厳粛な法要

一月十五日 午前十時、午後一時

十六日 午前十時、午後一時

講題 阿弥陀さまのおこころ
講師 服部法紹師（広島）

七五〇回大遠忌記念事業 四月より本堂修復工事着工

平成二十四年四月から九月頃まで本堂修復工事が行われます。それに伴い、期間中ご本尊を別部屋（空華殿）へ移動し、ご法事はそちらでお受け致します。予めご了承ください。行事の変更は左記のとおりです。

◆花まつり（四月） 中止

◆永代祠堂会（七月） 十月に変更

詳しい日程は次号以降にお知らせします。

◆子供盆踊り（八月） 中止

※「お講」は通常どおり行います。

年頭参り

一月一日午前八時頃

御正忌準備

一月十四日午前八時半

雪ん子劇団 春の定期公演

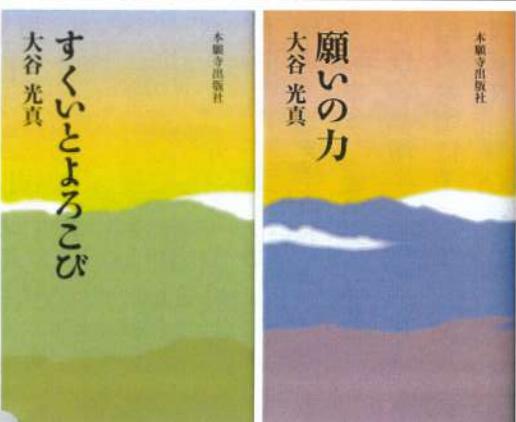


三月二十四日午後四時

お寺で一杯飲み
ませんか？

～壮年会立ち上げ～

ここ数十年来、事あるごとにご協力頂いていた壮年会（夢を語る会）の諸先輩も総代会等々へと移り変わり、新たに一から壮年会を立ち上げたく思いました。特に四〇代、五〇代の方を対象に集まりの場を設けますので、「ちょっとお寺で一杯」ぐらいの気持ちでご参加ください。心よりお待ちしております。



浄土真宗本願寺派第24代ご門主の書籍が本願寺出版より2冊刊行されています。はじめての方にもわかりやすい内容です。お寺にも数冊用意しておきますので、どうぞ仏縁に触れてください。

合掌

◇昨年は東日本大震災をはじめ悲惨な天災が数多く起こりました。

いつどこで何があるかわからない、自分の生と死もままならぬ私たち：いつも聞かせていただきたい事ですが、改めて法の真実と自分の無力を思い知られます。

十一月、富山教区仏婦連盟から五名が東日本大震災の被災地をおたずねしました。箱塚桜園地の仮設住宅でお茶会を開き、二十数人の皆さんと富山を紹介したり歌つたり踊つたりと楽しいひとときを過ごしました。

私はできるのは被災地にお金を落とすことくらい：と一行は両手に持てないほどのお土産を買いました。私ができることは被災地にお金を持ったことでした。

（玲子）

